

肺肉腫様癌患者由来オルガノイドおよび異種移植モデルを用いた 薬剤感受性評価

1. 研究の対象

2024 年以降に大阪国際がんセンターで肺肉腫様癌の手術を受けられ、Cancer Cell Port がん細胞バンク の構築「診療目的で採取された血液や組織の残余試料、及び研究目的の追加採血等による試料の収集と提供」（承認番号 18035）に登録された方。

2. 研究の概要

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2029 年 12 月 31 日

研究目的：

肺肉腫様癌は極めて稀で予後不良な肺癌であり、有効な薬物療法に関する知見は限られています。本研究では、患者由来オルガノイド(PDO)および患者由来異種移植モデル(PDX)を用いて細胞障害性抗癌薬に対する薬剤感受性を評価するとともに、必要に応じて遺伝子解析(Whole Exome Sequencing、RNA sequencing 等)を実施し、肺肉腫様癌に対する個別化治療の基盤となる知見を得ることを目的とします。

研究方法：

当院で保管されている試料及び診療情報を用いて PDO・PDX の作製、薬剤感受性試験及び分子学的解析を行います。本研究は既存試料・情報を用いるため、新たな身体的負担はありません。本研究の成果は学会・論文等で公表しますが、個人が特定されることはありません。また、本研究で取得した試料・情報は、倫理審査委員会の承認を受けた関連研究において、肺肉腫様癌の病態解明や新規治療法の開発を目的として利用される可能性があります。その際は法令及び当院の規程に従い適切に実施します。本研究により研究対象者に直接の利益はありませんが、肺肉腫様癌の診断・治療の発展に役立つことが期待されます。

本研究は大阪国際がんセンターの倫理審査委員会の承認を受け、総長が許可した上で実施します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：Cancer Cell Port「がん細胞バンクの構築」（承認番号 18035）において収集・保管された腫瘍組織

情報：年齢、性別、病理診断、治療内容、予後等の診療情報

個人情報が漏えいしないよう十分配慮し、研究で取得した試料・情報は大阪国際がんセンターの規程に従い適切に保管し、保管期間終了後は個人情報保護に配慮して適切に廃棄します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

大阪国際がんセンター 呼吸器外科 研究責任者 岡見次郎

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181